

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年6月8日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300732
法人名	有限会社 祓川養魚場
事業所名	グループホーム湧水の里
所在地	鹿児島県鹿屋市祓川町5250番地8 (電話) 0994-43-2514
自己評価作成日	平成27年4月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

・すぐ近くの山では野鳥のさえずりが聞こえ、すぐ近くの池では鯉が泳いでいる湧水の里、豊富な自然に囲まれゆっくりとした時間が流れる中を利用者の皆様は、御家族からの希望の多い散歩を、楽しんでいらっしゃいます。春は桜・秋は黄金色のたんぼなど、季節を目と肌で感じながら時には外でお茶をしたりされています。ホームでは毎週1回の訪問看護もあり、皆様の状態を引き継いだり、また、それぞれに掛かりつけの先生もおられ定期受診を行いながら体調管理に努めております。そして、どこにでもあるような暮らし「皆で干し大根作り」「ひまわり喫茶」で御菓子作りを楽しんでいます。ご家族にの皆様の面会もほぼ毎日有り賑やかで何かと楽しい我が家です。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年5月30日

・当ホームは町内会に加入し、地域の一員として利用者は小・中学校の運動会見物や地域行事の催しに参加している。事業所の春祭りや秋祭りは中学生や地元の人参加して踊りや事業所の情報を伝えたり、手作り弁当を振る舞い、地域の人との交流が盛んに行われている。

・「身体拘束はしない」を基本に勉強会で事例を出して、職員全員が意識付けをして知識を深め実践している。

・家族会は職員の手作り弁当で家族的なおもてなしをして、話しやすい雰囲気作りに取り組んでいる。家族の面会も多く暖かい雰囲気の中で暮らしている。

・年2回消防署の指導のもと火災避難訓練を実施し、災害対策の勉強会もしている。運営推進会議には毎回地域の消防団や地域代表者の参加があり、連携と共に協力体制も築いている。各施設で避難時の連携体制訓練も行っている。緊急通報連絡装置やスプリンクラー・消火器などの定期点検がされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「明るく豊かな人と人とのふれあい」「地域と共に」の理念の下、日々の生活の中で秋祭りの開催やホームでの蕎麦作りでふれあいの機会を設けている。</p>	<p>地域密着型サービスの理念を掲げ、朝の申し送りの後に唱和している。理念を木彫りにして玄関に飾り、日常のケアに理念を共有し実践している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会行事〔祓川棒踊り〕を湧水の里で披露してくださったり8月踊りの招待状も届き交流が図られている。今年も秋祭りを計画して地域の皆さんとの交流をさらに深めていきたい。</p>	<p>町内会に入り地域の一員として利用者は小・中学校の運動会見物や地域行事の催しに参加している。事業所の春祭りや秋祭りは中学生や地元の人も参加して踊りや事業所の情報を伝えたり、手作り弁当を振る舞い、地域の人との交流が盛んに行われている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>家族会に今年も21名の参加を頂き認知症についての学びの場を設けている。その時、使用した資料をご家族が欲しいと言われ持ち帰られた。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会長・消防団長・家族の代表の方々の意見を頂き行事計画を立てたり、湧水便りを見ながら活動報告を行っている。外部評価についても地域の皆様に助けられながら良い報告が出来ている。</p>	<p>会議は定期的開催され、年2回の家族会は運営推進会議に合わせて行われている。事業所の活動や状況報告・外部評価への取り組みが報告され、参加者から地域の行事計画や火災等の予防の取り組み・法改正などの話しがあり、意見を支援に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市町村との連携を密にとり認知症ケアの向上に取り組んでいる。運営推進会議にも参加して頂き利用者の方々や御家族、職員への要望や助言をいただいている。</p>	<p>市の担当者には書類提出で直接出向いたり電話やメールで日ごろから相談や疑問点を質問し、協力関係を築いている。家族会や運営推進会議・敬老会等に参加してもらい、事業所の現状を把握して助言などを貰っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については定期的な勉強会を行っており、身体拘束による弊害についても職員が理解しているが、常に勉強会を繰り返して学ぶことが大事なので理解を深めていきたい。</p>	<p>身体拘束廃止委員会があり、マニュアルを基に全職員が勉強し、拘束に対する具体的な行為を正しく理解している。「身体拘束はしない」を基本に事例を出し、どのようなことが拘束になるか細かく確認している。昼間、玄関の施錠はせずに自由な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	開かれたグループホーム作りに努め、ご家族の面会も多い。玄関を開けてホーム周辺の散歩に出かけ鍵をかけない工夫もし、高齢者虐待防止法についても定期的に勉強会を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員に成年後見人をしていた者がおり必要があれば活用できるよう支援できる。権利擁護に関する研修会にも参加スタッフ全員で勉強行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用契約時の説明は丁寧に行っている。不安や疑問点には分かりやすく十分な説明に努め、理解納得を得られてから契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎日の生活の中で、いつでも利用者の方々の体調や、困っている事、やりたい事等の声掛け目配りを行いながら、より質の高いサービスに努めている。家族の面会時には何でも話して頂けるよう声掛け行い対話の場を設けている。	意見の言えない利用者については表情や言葉から感じ取るようにしている。利用者の家族は毎日のように面会に来られ、その都度話しかけ意見を聞くようにしている。家族会は職員の手作りの弁当で家族的なおもてなしをして話しやすい雰囲気の中で思いを聞き、ケアに反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会議で職員の意見を聞く場を設けており、皆で意見を出し合っており、より良いグループホーム作りに結びついている。	毎日の申し送りや毎月の職員会議で職員の意見を聞いている。レポートで提言を代表者や管理者に提出し、運営に反映している。個人面談も行い、日常的に管理者は良好な関係作りとケアに反映できるように意見やアイデアを取りいれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	常に高い目標を持って、職員全員で勉強し職員の働きやすい明るくやりがいのある職場作りを心掛けている。年2回湧水の里の食事会も開催し親睦を図っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の外部研修参加計画を作り研修に参加している。またホーム内研修では毎月勉強したことをレポートにまとめて提出している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワーク作りを行い地域の同業者と交流を行っている。毎月の勉強会でそこでの情報を取り入れてサービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ホーム内外の環境に鳴れて頂くよう散歩をしたり話ながら本人の思い、困りごと、不安等に職員全体で耳を傾け寄り添い信頼関係をまず築くことに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	オープンなグループホーム作りに努め面会も多い。最初は不安も強いと思うのでその都度、話をする場をもうけ、何でも話していただけるよう声掛けしながら、要望等話していただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時の本人にとって何が一番かを話し合いながら時にはドクターの意見も頂いて本人が落ち着いて生活できるよう支援させていただいている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にラジオ体操をし、散歩に出かけ、洗濯物干しやたたみ、料理の下準備、お茶の準備や、歌を唄ったりと声掛けしながら毎日を一緒に過ごしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会には全員参加いただき、面会もほぼ毎日ある。正月帰省をされたり、家族と外食に出かけたり、病院受診に一緒に出かけたりされている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遊びに来て下さる知人の方も有り、部屋にて一緒にお茶タイムを楽しまれている。正月帰省をされたり、ドライブに出かけ近所の海沿いの景色を楽しんでいただき近くで買物をしたりしている。	親戚や馴染みの知人・友人の面会が多く、各部屋で楽しく過ごしている。家族と自宅に泊まったり外食や墓参り・美容室に行ったりしている。事業所ではドライブで自宅やその近所に行ったり馴染みの関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しく会話する場を確保し馴染みの関係がそれぞれに深まっていくよう努めている。外が好きな方は散歩を楽しまれたり、和室では洗濯物をたたみながら思いのままに会話されている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要とするご家族や利用者の方々と連絡をとり、付き合いを大事にしている。退去されたご家族が遊びに来て現況を話して下さったり面会にも行かせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の方々の希望に沿って年間行事計画を立てたりご家族の面会時には生活の意向本人の思いも伺いながらサービスにつなげ、利用者の方々ご家族の思いに答えていきたい。	十分に時間を取って個々に向き合い、コミュニケーションや表情・様子観察の中から汲み取り、本人の思いや意向を把握している。意思表示のできない利用者には家族からの情報や表情や突然発する言葉・こちらからの話しかけの反応等から、思いを把握し本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、本人・ご家族も交えてこれまでの暮らしぶりを伺っている。一人一人の生活暦は職員全員把握している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェック後、天気の良い日は散歩に出かけたりホーム内では料理好きな方には昼食準備に参加して頂いたり、洗濯物を干して下さる方・畳んで下さる方、それぞれに協力を頂きながら1人1の現状をを考えている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の方々とご家族に生活の意向を伺いモニタリングで満足度を伺いながら毎月の職員会議にて話し合いをし、今よりもっと利用者の方々の笑顔や自信を引き出せる介護計画作成に努めている。</p>	<p>利用者や家族の意向と毎日の介護日誌をもとに、月1回の職員会議で意見やアイデアを出し、介護計画を作成している。必要時には早急に、変化の無いときは3ヶ月毎にモニタリングをして、本人の意向や家族・ドクター・職員の意見を検討して現状に即したアセスメントを行い、臨機応変に計画の見直しをしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の記録では皆が見て分かりやすい記録をとり個別にファイルしている。朝・夕の引継ぎにて情報を共有し、より良いサービスに結びつくよう努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族が遠方より来居された折には部屋にて一緒に昼食を摂って頂いている。又、まだ泊まられた方はいないが宿泊もできる事を説明し状況に応じて対応できるようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生委員・町内会長・消防団等の協力の下、様々な行事計画を立てている。地域の消防団の協力の下火災避難訓練も行い皆さんの協力のおかげで安心な暮らしが出来ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>全員、かかりつけ医があり定期受診を行っている。病院受診は家族の協力も得られて適切な医療が受けられている。家族の希望で月2回の往診を受けてる方もいる。</p>	<p>本人や家族の希望で入居前からのかかりつけ医の受診を支援している。訪問看護を利用して「受診記録票」に記載し、主治医に常に報告している。月2回の往診もあり適切な医療が受けられるようにしている。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護利用時は、利用者の方々の今の状態を丁寧に説明を行っている（検温者や皆さんの食事量排便等）。又利用者の方々の直接の話も聞いていただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は度々病院を訪ねている。病院関係者との情報交換を行いながら本人にとって一番良い退院日を家族先生も含めて決めていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階に、かかりつけ医・本人・家族と相談しながら本人にとって最適な方針支援に取り組んでいる。ドクターより家族への丁寧な説明もして頂いている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針が明文化され、入居時に説明を行い同意書を得ている。状況の変化に伴い段階的に、本人や家族に説明している。訪問看護を利用しながら主治医と連携を取り事業所でできる支援の方針に取り組んでいる。医師や職員の連携や看護師の協力で終末期へ向けて最善のケアの取り組みを行なっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時のマニュアルもあり、応急手当やマニュアルの勉強会も行っており実践力に努めている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>中央消防署や地域の方々の協力の下、火災避難訓練・地震訓練を定期的に行っている。火災・災害時における近隣住民の協力連絡網もあり、協力を得られる体制も築いている。</p>	<p>年2回消防署の指導のもと火災避難訓練を実施し、災害対策の勉強会もしている。運営推進会議には毎回地域の消防団や地域代表者の参加があり、連携と共に協力体制も築いている。各施設で避難時の連携体制訓練も行っている。緊急通報連絡装置やスプリンクラー・消火器などの定期点検がされている。災害時の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	皆さん自分に自信と誇りを持って生活されているので、声掛けにも基本的な「です、ます」を使い笑顔で挨拶から1日が始まっている。	本人や家族に誇りにしていることを聞き、プライバシーに関する意見も聞いている。希望する呼び名を実行し、一人ひとりの人格の尊重に努めている。対人援助についての研修やミーティングなどで学びケアに活かしている。言葉かけなどは特に馴れ合いにならないように注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	理容・着替え等の希望も含めてゆっくり対話をしながら決めていただいている。年間行事計画もどこに行きたいか皆できめている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外に出ると顔が輝く方は散歩に出かけたり、足の丈夫な方は1日に2～3回散歩を楽しんだりされている。たまご屋さんが来ると嬉しそうに籠を持って手伝いをいただいたり一人一人のペースを大切に支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎週日曜日は手足の爪切り、火曜日は白ワセリンで足のマッサージを行っている。訪問理容のボランティアで髪をカットして頂いたり、訪問美容にて眉カットして頂き喜ばれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	じゃが芋の皮むきや、お茶の準備を一緒にしたり、食事前には嚙下運動も兼ねおはら節を唄ってから「いただきます」を代表で言って頂き全員で楽しく食事をしている。	米や野菜は事業所で栽培しており、日々生育するのをながめ、食している。祭りには手づくり弁当を参加者とともに食べたり、そば打ちやあく巻きを作り、家族や地域の人と楽しんでいる。食事の前に力量に応じて下ごしらえなどを行っている。食事前に嚙下運動や歌を唄い楽しく食事ができるようにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お茶ゼリーや、とろみをつけ水分はこまめに摂って頂いている。食事量水分量を確認して記録しおおよそのカロリー・栄養バランスを把握している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎年協力医療歯科より歯科検診と口腔ケアの指導が有り勉強した事を活かして洗面所にて口腔ケア義歯洗浄介助の支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意があったりなかったりする一人ひとりの排泄パターンを職員が把握してトイレ誘導を行い失敗時は声掛けに十分気をつけながら布パンツ、ズボンの着替えを支援している。	排泄チェック表で個々のパターンを把握して、トイレでの排泄を支援している。全体に波があるが、自立に向かっており、リハビリパンツの利用者が布パンツに移行している。自立支援に向けトイレへの誘導をさりげなく行い、失敗しても傷つかないように配慮して介助している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ラジオ体操や健康体操で体を動かしたり、散歩に出かけ良く歩かれている。おやつに焼き芋を出したり、便秘症の方はドクターに相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本は一日おきの入浴で、前の日に入らなかった人は次の日に入ってもらったりしている。薬風呂にてくつろいだ入浴を心掛けている。	基本的に週3回の入浴をしているが希望があればいつでも入浴できる体制にある。本人の意思や体調やタイミングを見ながら個々に応じた入浴体制を取っている。羞恥心や負担感がないような声かけをしたり工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一日の流れの中で生活リズムをつくり、散歩に出たりお茶の時間を楽しんだりされている。眠れない人は夕方の光をあびていい眠りを誘うよう散歩に出たりしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服の説明書はいつでも見られる所においてあり、職員は用法用量を理解している。薬が変わった時は個人ケースへ記録し引継ぎにて説明を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴は職員が理解していて、今日の日いち、曜日を発表してくださったり、ボール遊びをリードされたり、踊り師匠さんは音楽に合わせて即興で踊りを上手に踊って楽しんでおられる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎日ホーム周辺の散歩を楽しまれている。ご家族と外出に出かけたり、季節ごとにお花見・昼食会・苺狩り・みかん狩り・ぶどう狩り、又個別の計画も立て生まれ育った海の近くまでドライブに出かけたりしている。	日常的に広い敷地の中や近所を散歩している。その日に希望を聞いて、自宅や友人宅を訪ねたり、ショッピングやドライブをしたり、季節ごとの花見やみかん狩りなど、できるだけ外出をして気分転換をしている。毎月、家族と一緒に外出や外食を楽しんでいる。重度の利用者も無理なく外出できるようにしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	病院受診時、「お金を持ってきてない」と言われる人は預かり金を持っていただき一緒に支払いをしている。また売店にてあんぱんの買い物して喜ばれている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	毎年暑中見舞いや年賀状を職員と一緒に書いて出されている。電話もかけたりかかってきたりして話をされている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	時計やカレンダーも目に付く所に掛けてあり、居間には散歩の途中摘んだ季節の花を飾ったりしている。部屋掃除、トイレ掃除を毎日行い清潔なホームで穏やかに生活されている。	広い敷地は公園のように木々が植えられ、大きな桜の木があり花見ができる。多目的ホールやくつろげる和室があり不快な音や刺激物もなく、台所も見える位置にある。季節感のある飾りつけや花が生けられている。テラスもあり、日本庭園が広がっていて居心地のよい環境で暮らしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>話好きな利用者の方や歌好きな方テレビ視聴される方達が居間や和室ソファー又は自室にて思い思いに過ごされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は使い慣れた布団や枕、椅子や小さなテーブル、道具箱、家族の写真や花好きの方は花鉢が飾ってあり、それぞれに自分の部屋づくりをされている。</p>	<p>全室畳部屋にベッドが置かれ、外の素晴らしい景色が眺められる。部屋の入口は名札がかけられている。トイレ付きの個室もある。テレビやギター等、馴染みの物を持ち込んで、自分らしい部屋になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>表札や各部屋に名札（竹）が有り自室の確認をされている。手すりは全てに設置されていて、車椅子用トイレ、男性用トイレもある。居間や和室のソファーにてテレビを観られたり自分のペースで安心して過ごされるよう環境整備に努めている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない